

提案

日付：2024/2/1

件名：災害時のトイレ、生活水の確保に関して提案

1. 問題、課題

能登半島での地震で、住民の方々は今もなお水、トイレを含め大変な思いをされています。

寒川でも 30 数年前、春の大雪で送電塔が倒れ、停電、断水し数日でしたがたいへんな思いをしました。その時、近所のかたが自分の家の井戸を開放して近所の人達に水を分けてくださり、とても助かりました。

ただ、ご自分の家の発電機を使ってくださったので限界もあり、このような場合にむけて、行政に積極的に対策をしてほしく、寒川町で災害が起こった時を想定して、2 点提案します。

<問題点>

一 現在の避難所となっている小中学校、総合体育館等はトイレの数はあっても、水がなければ流せません。仮設トイレは設置に時間がかかるし、不衛生。

二 個人宅での在宅避難も、飲み水は備蓄できても、生活水の備蓄は無理です。

2. 改善案

<提案>

一 ア 避難所となる小中学校、公共施設にマンホールトイレを更に設置。

いろいろな自治体でマンホールトイレの設置がすすめられています。調べた範囲では令和 4 年度寒川町のマンホールトイレは 5 基のようで、今は数が増えているかもしれませんが、とても足りないと思います。マンホールトイレは下水さえ流れていれば流せるようで、建物内のトイレよりは使えるのではないのでしょうか。

イ 避難所となるところに災害用井戸を掘る。(数か所でも)

停電を考えたら、手押しポンプでも。人手はあると思うので。マンホールトイレの水としても使えるように位置を配慮して。

二 災害用井戸の民間登録、補助

ア、現在井戸を持っている人に、災害時、生活用水取水へのお願いをして 登録をお願いする。

ただし、災害時のポンプ稼働への電気料金支払い免除や停電時に発電機を配る、等の行政主導の配慮が必要かと思えます。(調べても、現在の災害用井戸は平塚信用金庫との契約のみしかでてきません。しかも通常の電気料金はともかくとして町は発生する費用も持ちません、と読め、このような対策には後ろ向きに感じます)

イ、現在ある井戸へ手押し型のポンプをつけてもらえる場合は補助。

3. 改善後の効果

最初のコストはかかりますが、給水車もほぼ飲料分で済めば住民全体への給水が早く行えますし、被災、避難という環境の中で、衛生面、心理面での困難、辛さが軽減します。

住民の安全、安心に町が積極的にかかわっていくというアピールができます。

回答

<災害時のトイレ、生活水の確保に関して提案>

○災害時のトイレに関してのご提案について

- ・ 1-ア 避難所となる小中学校、公共施設にマンホールトイレを更に設置。
- ・ 1-イ 避難所となるところに災害用井戸を掘る。(数か所でも)

【所管：町民安全課】

日頃より、町の防災行政にご協力いただき誠にありがとうございます。

避難所におけるトイレの問題については、衛生環境の悪化や、排泄を我慢することに起因する健康障害にも発展する可能性があるため、大きな課題であると認識しております。

現在、町では、避難所における良好な生活環境の整備を図るため、各避難所へのマンホールトイレ設置の検討を進めております。

トイレを流す水については、災害用井戸の設置についても検討しましたが、設置費や維持費などを総合的に判断し、組み立て式の給水タンク（飲料用・生活用水用）を導入し、給水支援による対応を検討しております。

また、マンホールトイレの数に限りがあることや、給水車からの給水に時間がかかることも想定されるため、既存のトイレを活用した、水を使用しない携帯トイレ等も併用して対応してまいりたいと考えております。

○生活用水の確保に関してのご提案について

災害用井戸の民間登録、補助

- ・ 2ーア 現在井戸所有者に、災害時、生活用水取水への登録をお願いする。
災害時のポンプ稼働への電気料金支払い免除や停電時に発電機を配る、等の行政主導の配慮が必要かと思えます。
(調べても、現在の災害用井戸は平塚信用金庫との契約のみしかできません。しかも通常電気料金はともかくとして町は発生する費用も持ちません、と読め、このような対策には後ろ向きに感じます)
- ・ 2ーイ 現在ある井戸へ手押し型のポンプをつけてもらえる場合は補助。

【所管：町民安全課】

災害時における井戸水の生活用水への利用は効果的かと考えますが、町では町内の井戸所有者を把握しておらず、使用にあたっては、水質検査等も必要であることから、所有者への協力依頼や、各種補助などは検討しておりません。

また、生活用水については、風呂水を貯めて有効活用するなど、自助の取組みも重要であるとと考えております。